



基本領域 泌尿器科専門研修

連携

- 京都大学広域連携専門研修プログラム
- 兵庫医科大学泌尿器科専門研修プログラム
- 兵庫・岡山地域泌尿器科専門研修プログラム

1 泌尿器科の理念・特色

- ① 但馬地方の基幹病院の泌尿器科として、尿路悪性腫瘍、尿路結石、前立腺肥大症などの症例が集中している。
- ② 当科では尿路男性生殖器の腫瘍、尿路結石、尿路性器感染症、排尿障害、女性骨盤底疾患など広範囲な疾患の診断、治療を行っている。
- ③ 悪性腫瘍の手術の中心は腹腔鏡手術で、近年増加傾向である。従来の腹腔鏡下腎摘出術、副腎切除術に加え、2014年から腹腔鏡下前立腺全摘術、腹腔鏡下腎部分切除術、2017年から腹腔鏡下膀胱全摘術を開始している。
- ④ 近年急速に増加している前立腺癌の検査では、原則外来で前立腺生検を行っている。
- ⑤ 転移性腫瘍に対しては、様々な化学療法剤や分子標的薬などによる治療を積極的に行っている。
- ⑥ 骨盤臓器脱、腹圧性尿失禁などの女性特有の疾患に対し、2016年から女性泌尿器科外来を設置し、メッシュを用いた根治術(LSC,TVM,TOT)を積極的に行っている。
- ⑦ 尿路結石の治療は、体外衝撃波結石破碎装置(ストルツ社製モジュリス)による日帰りの破碎術を中心とし、その他、経尿道的破碎術(TUL)、経皮的碎石術(PNL)などの内視鏡手術を行っている。
- ⑧ 慢性腎不全に対して、腹膜透析(CAPD)を行っている。
- ⑨ 月曜朝に文献抄読会、夕に症例カンファレンス、水曜夕に薬剤勉強会または腹腔鏡手術検討会、木曜朝に病理カンファレンス、金曜朝に画像カンファレンスを行っており、スタッフ一同で治療方針の検討を行い、標準的治療に即した医療の実践を心がけている。

2. 目標・プログラム

ア. 目標とする医師像

泌尿器科医は超高齢社会の総合的な医療ニーズに対応しつつ泌尿器科領域における幅広い知識、錬磨された技能と高い倫理性を備えた医師であるという基本姿勢のもと、

1. 泌尿器科専門知識
2. 泌尿器科専門技能: 診察・検査・診断・処置・手術
3. 継続的な科学的探求心の涵養
4. 倫理観と医療のプロフェッショナルリズム

の4つのコアコンピテンシーからなる資質を備えた泌尿器科専門医を目指す。

イ. 経験できる診療、技術

指導医のもと腹腔鏡手術、ロボット手術、開腹手術の執刀医として経験を積めます。

執刀手術: 前立腺生検、膀胱鏡、逆行性腎盂造影・尿道カテーテル留置、経尿路的膀胱腫瘍切除術、経尿路的尿路結石破碎術、経尿路的前立腺切除術、尿道カルンクル切除術、陰嚢内手術、包茎手術、前立腺全摘術、腹腔鏡下腎・尿路悪性腫瘍手術、腹腔鏡下副腎摘除術、PNL、ESWL など

3. 週間予定

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日/日曜日
早朝	8:15～ 抄読会			8:15～ 病理カンファレンス	8:15～ レントゲン カンファレンス	
午前	手術	外来	外来	手術	手術	
午後	手術	ESWL	手術	手術	手術	
時間外						

4. 指導医・スタッフ

部長 渡部 淳
大学卒業年 1993年卒

博士(医学) 京都大学 2008年

専門	泌尿器科疾患全般
認定	日本専門医機構認定泌尿器科専門医、日本泌尿器科学会指導医・泌尿器ロボット支援手術プロクター、臨床研修指導医

医長 植村 祐一
大学卒業年 2007年卒

専門	泌尿器科疾患全般
認定	日本専門医機構認定泌尿器科専門医、日本泌尿器科学会指導医

医長 福井 智洋
大学卒業年 2011年卒

専門	泌尿器科疾患全般
認定	日本専門医機構認定泌尿器科専門医、日本泌尿器科学会指導医、日本泌尿器科学会泌尿器腹腔鏡技術認定医、日本がん治療認定医機構認定医

医員 横関 仁志
大学卒業年 2018年卒

専門	泌尿器科疾患全般
認定	日本医師会認定産業医

医員 宅間 敬晃
大学卒業年 2020年卒

専門	泌尿器科疾患全般
----	----------

顧問 白波瀬 敏明
大学卒業年 1986年卒

専門	泌尿器科疾患全般
----	----------

5. 診療設備等



手術支援ロボット「ダヴィンチ(da Vinci Xi サージカルシステム)」米国インテュイティヴ・サージカル社(2017年度導入)

6. 診療実績

		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
手術件数		597	583	482	556	598
膀胱全摘出術	ロボット	10	12	12	12	7
	腹腔鏡	0	0	0	0	0
	開腹	0	1	1	1	2
前立腺全摘出術	ロボット	56	29	58	29	55
	腹腔鏡	6	0	0	0	0
	開腹	0	0	0	0	0
腎(尿管)全摘出術	腹腔鏡	32	28	14	28	22
	開腹	3	3	0	3	1
腎部分切除術	ロボット	17	9	6	9	10
	腹腔鏡	0	0	0	0	0
	開腹	1	0	0	0	0
陰茎癌手術		5	0	3	0	0
高位精巣摘除		4	5	1	3	2
TURBT		161	177	150	160	147
TURP, HOLEP		39	33	36	33	42
TUL		94	72	82	80	129

PNL	6	4	10	6	12
LSC	7	5	0	2	0
TOT,TVM	3	0	0	0	0
停留精巣	3	5	4	0	2

7. 学会認定施設

日本泌尿器科学会専門医教育施設

専攻医の声

私はここ豊岡病院で5年目を迎えています。

兵庫県川辺郡猪名川町という小さな町で育ち、大阪の中学高校、愛知の大学を出たあと豊岡病院で初期研修を終えました。大学時代から志望科をいくつか絞っていたことありますが、初期研修2年目までには、泌尿器科を志すことに決めていました。豊岡病院に残り研修を開始するにあたり、大学教授に相談の上、自ら志願して豊岡病院での後期研修を始めることができました。

ところで、泌尿器科はどのような特徴を持つ科と考えますか。私は、内科でもあり外科でもある幅の広さを特徴にもつ科であると考えています。そのため、多くのことを考え、実践し、覚えて行く必要があります。この病院で、指導医の先生方には、適度な距離から内科医として治療方針の助言や、外科医として手術手技に関する多くのこと指導頂き、私自身日々成長させていただいています。

また、豊岡病院の医療エリアはとても広範囲に及びますが、個人医院も含め泌尿器科の先生が特に少ないエリアです。そのため、内科分野・外科分野問わず多くの症例が集まります。多くの外来経験を得ることができ、同時に多くの手術症例に出会うことができる病院です。

週末には、都心とは違った娯楽で案外楽しく過ごせます。スキーやキャンプ・釣り・マリンスポーツなどアウトドアの趣味の方には恵まれた環境です。

指導していただく先生方、病院の環境を考えると、後期研修医として自身の能力を伸ばすことに関し大変恵まれている病院ではないでしょうか。まだまだ勉強中の身ではありますが、着実に学ぶことができていると実感しています。

豊岡病院での研修を受け入れてくださった大学の教授に感謝しながら、皆様と一緒に働ける日が来る様、豊岡の地で心よりお待ちしております。

古倉 和紀 医師